

須賀川地方広域消防組合地球温暖化対策実行計画（事務事業編）
に基づく取組状況（2023年度）

地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に基づく取組状況の公表

地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき策定した「須賀川地方広域消防組合地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」に係る2023年度の温室効果ガス総排出量の実績状況について、次のとおり公表します。

須賀川地方広域消防組合の事務事業における温室効果ガス排出量

須賀川地方広域消防組合の業務により排出される温室効果ガス（二酸化炭素（CO₂））を2030年度末までに2020年度比で、15%以上削減することを目標としています。

「須賀川地方広域消防組合地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」に基づき、年度の取組み目標を設定し、省エネルギーの推進に取り組んだことにより、2023年度において前年度より14t-CO₂削減し、年間目標値（約1.5%削減）を達成しています。

温室効果ガス総排出量

（2023年度）

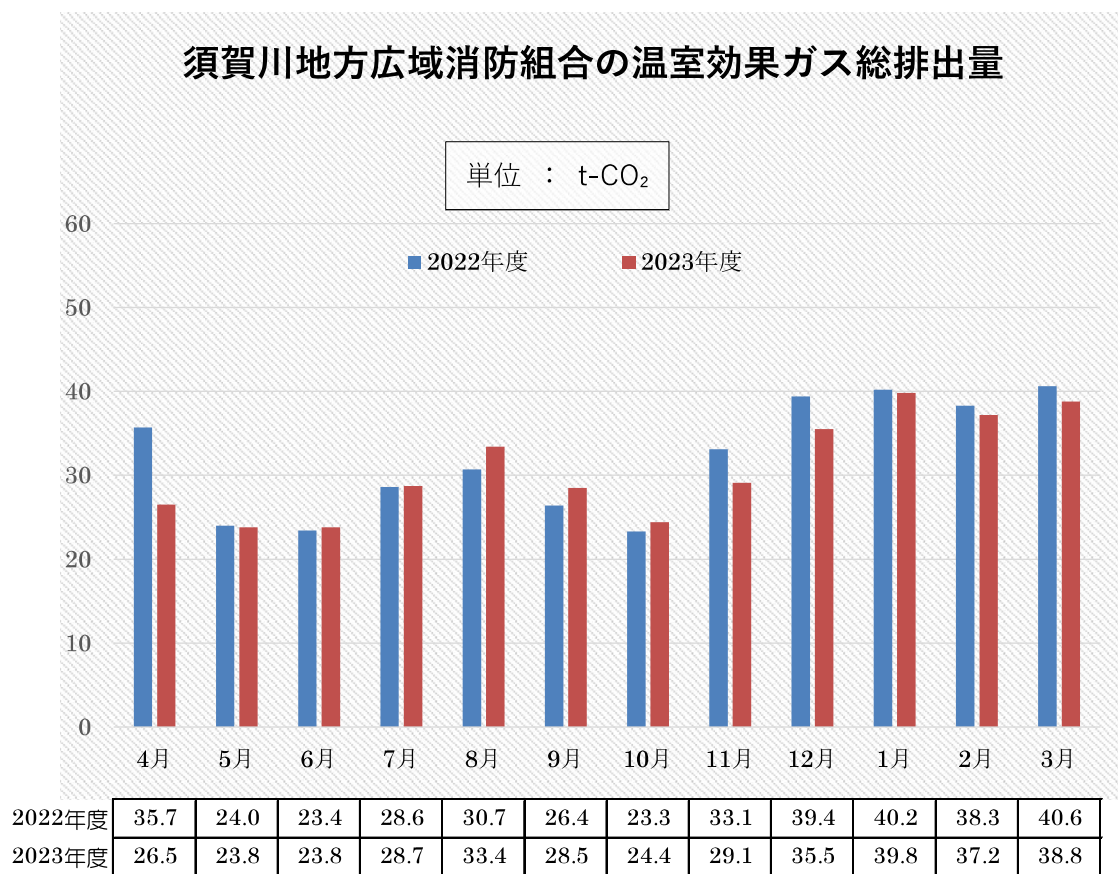
年度	温室効果ガス総排出量	前年比	基準年度比
2020年度 （基準年度）	400t-CO ₂	----	----
2021年度	390t-CO ₂	2.50%削減	2.50%削減
2022年度	384t-CO ₂	1.54%削減	4.00%削減
2023年度	370t-CO ₂	3.65%削減	7.50%削減

須賀川地方広域消防組合の温室効果ガス排出量月別推移

2022年度と比較し、初夏から初秋にかけて増加したものの、その他の月で温室効果ガスの排出量が減少しました。

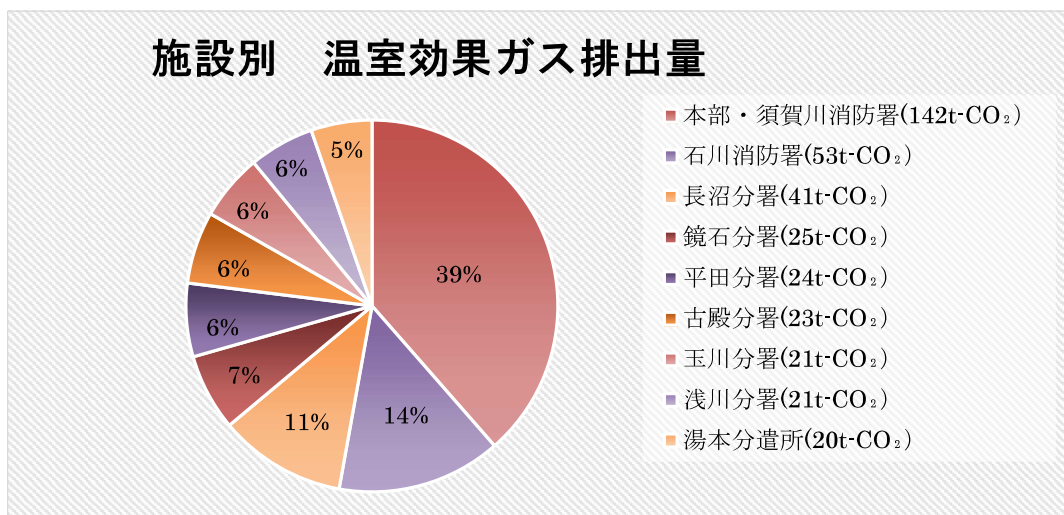
温室効果ガスの総排出量が減少した要因は、省エネルギーの推進により、空調設備の適正な温度管理とメンテナンスの実施、不必要な照明の消灯を徹底するなど、施設設備の運用改善によるものです。

排出量が増加した月の要因としては、例年と比べ初夏から初秋にかけての気温が高かった日が続いたことにより、冷房器具の使用時間が長くなったことによるものです。



施設別温室効果ガス総排出量

施設別の温室効果ガス総排出量は、「消防本部・須賀川消防署」が最も多く全体の約 39% (142t-CO₂) を占め、次いで石川消防署 約 14% (53t-CO₂)、長沼分署 約 11% (41t-CO₂) などとなっています。



エネルギー種別における排出状況

エネルギー種別では、電気、ガソリン、軽油、灯油、LPGの順に総排出量が多くなっています。

